

※ 解答は、《解答欄》に書きなさい。

ポイント

- ・ 説明に必要な資料を収集し、分類・整理する。
- ・ 効果的な発表のために、見出しを工夫する。

谷田さんは、写真で見たカブトガニについて、インターネットで調べたり、「カブトガニを守る会」の森野さんへインタビューをしたりしました。

【インタビュー内容】

谷田さん 私は、この間、初めてカブトガニを写真で見ると、興味をもちました。

カブトガニがどういう生き物なのか教えていただけますか。

森野さん 谷田さんは、カブトガニが「生きている化石」と言われているのを知っていますか。また、この呼び名がどこから来たのかわかりますか。

谷田さん いいえ。ただ「化石」という言葉からすると、昔いた生物ということだと思うのですが、「生きている」という言葉が付いているので、今も存在しているということですね。

森野さん そうですね。カブトガニは、二億年以上前から姿をほとんど変えず生息していると言われています。そこで、「生きている化石」と呼ばれているのです。

かつては、そんな貴重な生き物が西条市東予地区の海岸一帯でたくさん見られました。

谷田さん どうして西条に多くいたのですか。

森野さん それについては、まず、カブトガニが生息している場所について説明しましょう。調べてみると、波が穏やかな浅い海だということが言えます。そして、広大な砂浜と干潟があるということも、カブトガニの生息場所としての特徴です。

谷田さん 少し疑問がわいたのですが、恐竜は六千年以上前に絶滅してしまいましたが、カブトガニはそれ以前から現在に至るまで生き続けていますよね。それは、何か理由があるのでしょうか。

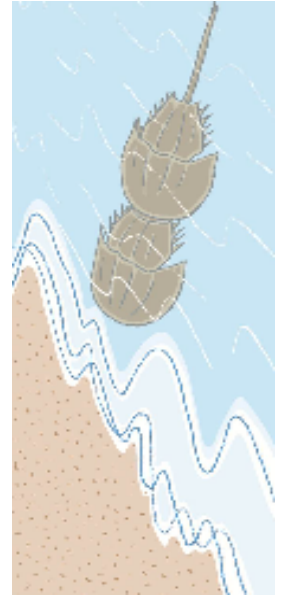
森野さん いろいろな理由があるのですが、カブトガニには環境への対応力があつたということも考えられるでしょう。

谷田さん 環境への対応力とはどのようなものですか。

森野さん エサについては、一年のうち三か月くらい食べれば、あと九か月くらいは食べずにずっと冬眠した状態で生きることができます。また、二年間くらいはエサを食べなくても生きられるということも分かっています。さらに、エラにあたる部分がぬれていれば、水の外でも一、二週間は生きられます。

谷田さん なるほど。カブトガニが二億年以上も生息し続けることができたのは、このような対応力があつたからではないかということですね。お話を聞いて、カブトガニのことがよく分かりました。

今日は、お忙しいところ、質問にお答えいただきありがとうございます。ありがとうございました。



シート 5 正答例

- 1 (例) 砂浜に卵を産み、卵からかえった幼生が干潟で生育するから (27 字)
- 2 (例) 一年のうち三か月くらいエサを食べれば、あとは食べずに冬眠状態で生きられる (36 字)
- 3 (例) カブトガニが二億年以上前からほとんど姿を変えずに生きていることや、環境の変化への対応力のすばらしさを知ってもらいたいから (60 字)